

2024年12月期 第2四半期 決算説明資料

GreenBee株式会社

(東証グロース：3913)

2024年8月14日

本資料の複写、転用はしないで下さい



テクノロジーで、持続可能な未来を築く会社

新領域事業

GXサービス事業

お客様の脱炭素化に向けた取り組みに貢献するサービスをワンストップで提供する事業

- 運用効率を最適化する設計
- EMSクラウドサービス
(エネルギー管理システム)
- 蓄電池システムのカスタムパッケージ
 - スマートデータロガー
 - 蓄電池
 - 太陽光発電モジュール
 - EV充電器

新シフト事業

DXサービス事業

AIとシステムで情報活用可能なサービスをワンストップで提供する事業

- クラウドデータバックアップサービス
 - sMedio Cloud Backup
- 建設DXサービス
 - 切羽AI評価サービス
 - コンクリートAI評価サービス
 - 掘削サイクルAI解析サービス
 - 濁水処理AI解析サービス
- モバイルアプリ脆弱性診断サービス
 - RiskFinder

共通基盤事業

テクノロジー ライセンス事業

競争力の高い自社テクノロジーIPをライセンスする事業

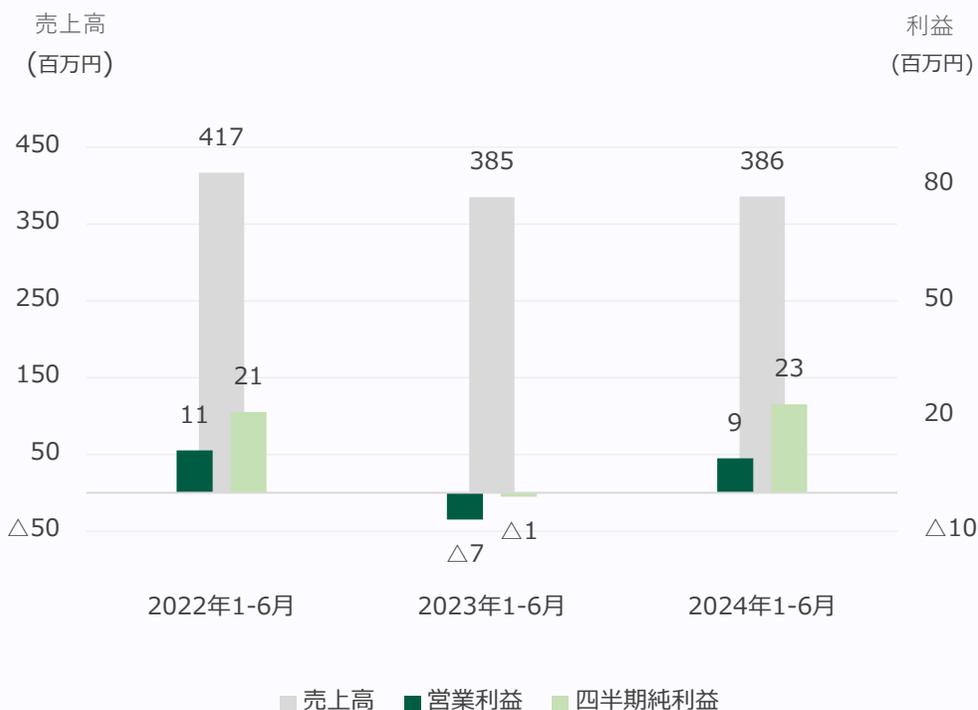
- 4K/8Kプレミアムコンテンツ再生
 - Valution
 - TrueBD
- 組み込みブラウザ
 - tourbillon
- デバイス間高速データ転送・バックアップ
 - sMedio Data Transfer
- AIメイクアップアプリ
 - sMedio Beauty Camera

決算概要

2024年12月期 第2四半期

- 売上高は、386百万円（前年同期は385百万円）
- 営業利益は、9百万円（前年同期は7百万円の赤字）
- 四半期純利益は、23百万円（前年同期は1百万円の赤字）

業績推移



予算進捗率

(単位:百万円)	2024年2Q実績	通期予算	進捗率
売上高	386	898	43.0%
営業利益	9	46	19.5%
経常利益	21	46	46.4%
四半期純利益	23	34	68.8%

連結決算概要（PL）

単位：百万円



	2022年	2023年	2024年	前年同期比	
	1-6月	1-6月	1-6月		
売上高	417	385	386	0	0.1%
売上原価	195	188	171	▲17	▲9.4%
売上総利益	222	196	214	18	9.2%
販管費	210	204	205	1	0.6%
営業利益	11	▲7	9	16	n/a
営業外収益	20	10	12	1	15.4%
営業外費用	–	–	–	–	n/a
経常利益	31	3	21	18	591.9%
特別利益	–	–	0	0	n/a
特別損失	–	0	2	2	1200.1%
税金等調整前四半期純利益	31	2	19	16	557.4%
法人税等	9	4	▲4	▲8	n/a
親会社株主に帰属する四半期純利益	21	▲1	23	25	n/a
売上原価率	46.8%	49.0%	44.4%	▲4.6p	n/a
営業利益率	2.7%	▲2.0%	2.4%	4.3p	n/a

• 売上高

前年同期と比較して、テクノロジーライセンス事業で28百万円減少した一方で、DXサービス事業で9百万円増加、GXサービス事業で19百万円増加したことで、386百万円となりました。

• 営業利益

コストの最適化、セールスマックスの変化等によって売上原価が減少したことで営業利益は9百万円となりました。

• 親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益が増加したことに加え、為替差益や法人税等調整額を計上したこと等により、23百万円となりました。

単位：百万円

資産	2022年 12月	2023年 12月	2024年 6月	前期末比	負債・純資産	2022年 12月	2023年 12月	2024年 6月	前期末比
現金及び預金	889	781	891	109	買掛金	20	23	19	▲3
売掛金	181	215	145	▲70	未払法人税等	14	12	1	▲11
仕掛品	12	1	8	6	賞与引当金	2	2	4	2
原材料及び貯蔵品	235	116	95	▲21	その他	122	76	79	3
その他	26	29	33	4	流動負債合計	159	114	105	▲9
流動資産合計	1,346	1,144	1,174	29	固定負債合計	13	10	11	0
有形固定資産	14	13	13	0	負債合計	173	125	116	▲8
ソフトウェア	3	1	0	▲0	資本金・資本剰余金	1,347	1,341	1,335	▲6
その他	1	1	1	▲0	利益剰余金	23	▲139	▲116	23
無形固定資産合計	4	3	2	▲0	自己株式	▲176	▲166	▲156	9
投資その他資産	28	28	37	9	その他	25	29	48	19
固定資産合計	48	44	53	8	純資産合計	1,221	1,064	1,110	46
資産合計	1,394	1,189	1,227	37	負債・純資産合計	1,394	1,189	1,227	37

• 資産

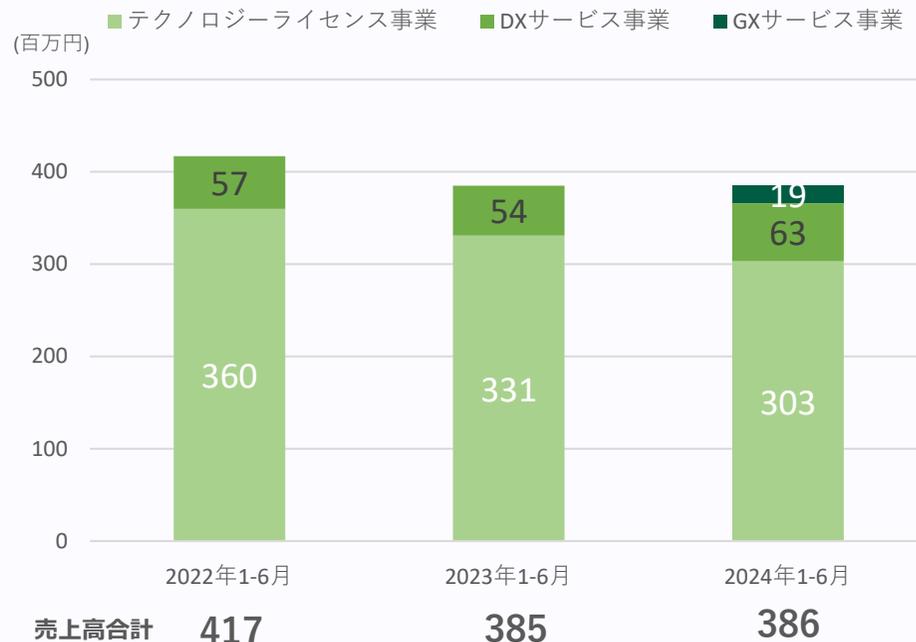
四半期純利益を計上したこと等に伴い、資産が37百万円増加しました。

• 負債

法人税等の支払い等により負債が8百万円減少しました。

• 純資産

自己資本の水準について、当四半期末において自己資本比率は90.5%であり、引き続き、財務の健全性は維持しております。



- **テクノロジーライセンス（共通基盤事業）**

ライセンス売上は堅調に推移しましたが、開発売上が昨年同期と比較して低調に推移した結果、前年同期比較で28百万円の減収となりました。本事業領域に関わる開発その他コストの適正化を図ること、より利益率の高いライセンス製品に注力することで収益率を向上させていきます。

- **DXサービス（新シフト事業）**

建設DXサービスにおいて、昨年と一昨年に計上されていた特定案件の開発売上がなかった一方で、sMedio Cloud Backupの有償契約者数増加によるサブスク収入増により、前年同期比較で売上は9百万円の増収となりました。

- **GXサービス（新領域）**

当年度から新たに開始した事業で、蓄電池システム関連からの収益を上げていくことに注力しています。現在実施している商談からの売上は本年度後半から来年度前半に計上されることを期待しております。

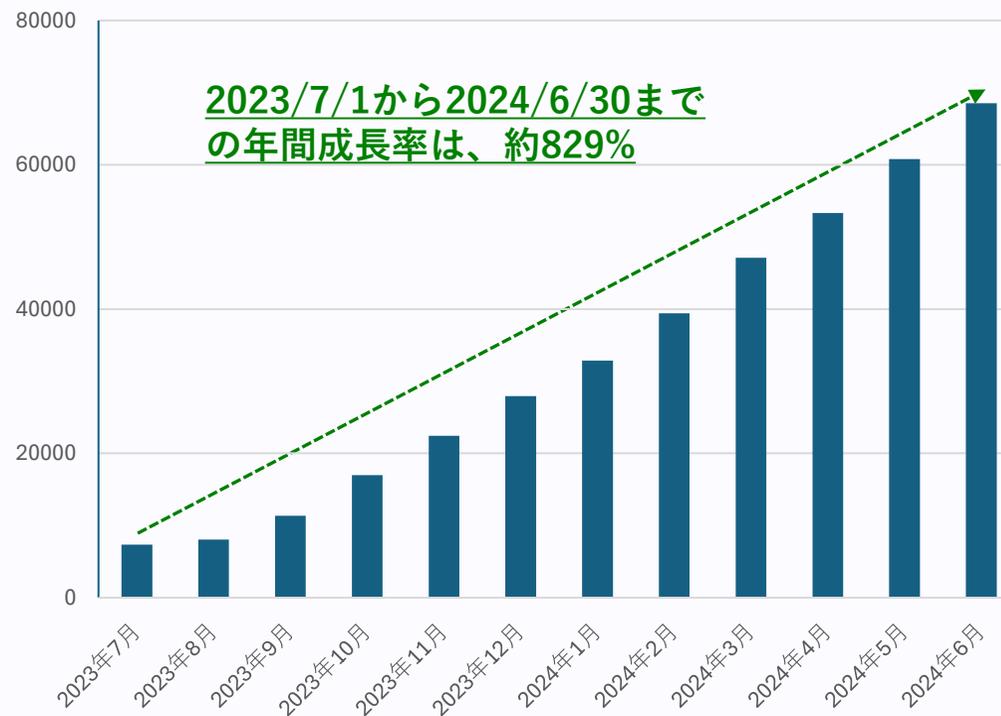
DXサービスとGXサービスからの売上を伸ばしていくことで、テクノロジーライセンスビジネスからの移行を図ります。

事業概要

2024年12月期 第2四半期

- パソコンメーカー向けに、パソコン、スマートフォン、タブレットを連携する新製品の開発、営業受注に取り組んでおり、そのうち、1製品については10月発売予定のパソコンに搭載されることで決定しました。
- クラウドデータバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」の機能強化版 Version3をリリース開始、2024年6月末時点での有償サブスクリプション契約者数は 60,000名を超過しました。

有償サブスクリプション契約者数の推移



- 「インバート掘削打設管理サービス」が青木あすなろ建設（株）に採用されました。当社建設DXサービス製品の累計採用企業社数は 13社、累積採用トンネル数は52本に到達しました。（2024年6月末時点）
- 戸田建設（株）と「インバート施工モニタリングシステム」を共同開発し、自社サブスクリプションサービス「インバート掘削打設管理サービス」として提供を開始しました。山岳トンネル建設工事でのインバート掘削からコンクリート打設までの一連の施工管理の効率化を低コストで実現します。

本年度は事業基盤構築フェーズと位置付け、
GX戦略パートナー提携強化とGX製品ラインナップ強化に取り組んでおります。

- 2024年5月8日より、Beijing Green Vanadium New Energy Technology社のバナジウムレドックスフロー蓄電池の販売を発表しました。



x



- 2024年7月12日に、太陽光発電所開発で最大手のウエストホールディングス社と資本業務提携を締結しました。ウエストホールディングス社は当社の発行済み株式3%を取得し、当社はウエストホールディングス社向けに様々なサービスを開発、提供してまいります。



x



- 2024年8月9日に、電気自動車向け充電器・充電インフラを開発、提供しているeTreego Japan株式会社への出資を発表しました。EV充電器の販売を開始しました。



x



- 本資料は、提出日現在に利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料中の数値は、単位未満の端数処理による影響で表中の合計と一致していない場合があります。